R8.10.20 開催

R8.10.20「北の住まいの今とこれから～北方型住宅とBIS資格～」アンケート結果

アンケート回答総数

23 件

① 今後BISを取得しようと思いますか

はい: 19件 (83%)

取得済: 1件 (6%) ／ いいえ: 3件 (13%)

② これからの青森県内の住宅について感じることを自由に記載してください

1. 既存住宅・リフォーム需要へのシフトと品質確保

- **背景と課題：** 新築着工数の減少に伴い、中古住宅のリフォーム需要が急速に拡大すると予測されています。
- **求められる性能：** 単なる修繕にとどまらず、断熱改修・耐震改修をセットで行い、長く快適に住み続けられる住宅ストックの構築が重要視されています。
- **品質・施工対策：** リフォーム工事後のクレームを防止するため、施工事業者の技能向上や技術対策が不可欠であると指摘されています。

2. コスト・地域環境（車社会・積雪）とコストパフォーマンス

- **価格と性能のバランス：** 高性能化に伴う建築コスト上昇に対し、一般事業主や施主が手が届く価格帯で適正な性能を提供する取り組みが求められています。
- **地域特有の住環境：** 車社会である青森県においては、駐車場や物置、降雪時の囲い（カーポート・ガレージ等）が生活上必須であり、住宅本体だけでなく敷地全体を含めたトータルな住環境整備が課題となっています。

3. 耐震・断熱性能と現場における実効性の検証

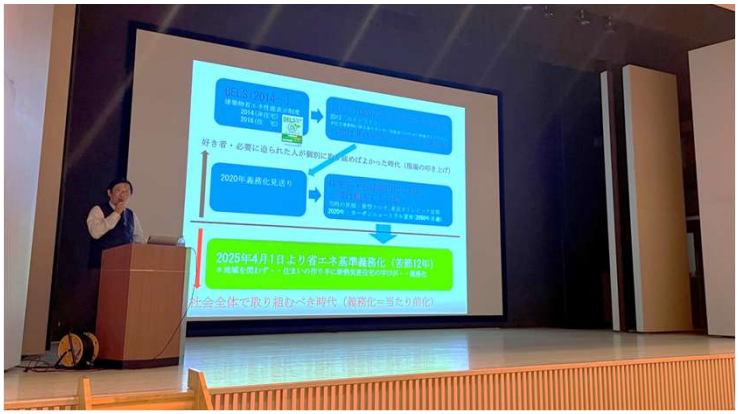
- **耐震性の重視：** 直下型地震のリスクを考慮し、断熱だけでなく優れた耐震性能を備えた住宅づくりの推進が必要とされています。
- **実効性の確保（断熱診断・気密測定）：** 設計上の計算値（UA値）だけでなく、現場での気密測定や断熱診断を実施し、実効性のある省エネ性能を担保することが不可欠です。

4. 地場工務店・職人の育成と連携強化

- **技術・人材の育成：** 大手ハウスメーカーに対抗できる地場工務店の育成や、深刻化する大工・職人不足への対応が急務となっています。
- **協調と情報共有：** 高性能化が標準となる中で、個々の工務店が孤立するのではなく、「個」から「集団」へ移行し、強み・デザイン・施工法を共有・研鑽し合う関係性が求められています。

5. 研修会・セミナーに対する評価と今後の意欲

- **セミナーの評価：** 講師（福島先生・山本亜耕先生）の講義に対し、外断熱技術の普及や「住む人の意味」に昇華させる家づくりなど、非常に参考になったとの高い評価が得られました。
- **今後のアクション：** 問屋・流通の立場からの課題解決や、BIS受験を通じたスキルアップなど、実務への活用意欲が示されています。



あおもり GX住宅 ビルダーズ